

A: こんにちは、お久しぶりですがどうされてましたか？

B: 実は夫が亡くなりましてね。子どもと2人で毎日目まぐるしく過ごしてますよ。

A: ええっ、それは知らなかったとは言え。御胸中お察し申します。子供さん二人では色々大変でしょうね。

B: そうですね。まあ、落ち込んでばかりもいられないのでね。明るさだけがわたしの取り柄ですし。あなたはどうされていましたか？

A: 今将来の事とか考えていて、あと2年で大学も出るので、その後は消防学校に入学したいと思っているんですよ。人を援ける仕事でしたんです。

B: わー！素敵ですね！消防学校ってキツイイメージがあるんですが、体力には自信があるんですか？

A: まあ、そこそこには。卓球部だったんで瞬発力は自信があるんですよ。所でお仕事はどうされるんですか？

B: 学生時代のバスケットボール部の友人と会社をやってますよ。まだ30代ですからね。子供のためにもバリバリ働かないと！

A: あ、それは凄いなあ。学生時代の友人は信頼出来ますものね。え、何の会社ですか？

B: はい！お任せください！